SUSTEP(D)

専門基礎科目_環境学関連科目(SUSTEP)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBNP001	環境学フォーラムI	2	2.0	1 - 3	秋AB	集中		環境学担当教員	本フォーラムは,持続循環環境学を枠組みとして,学生の個別研究の学際的な広がりと説明力を育成し,持続可能な物質とエネルギーの循環型社会システムに関する科学技術とその政策的実践力を高度化します.	詳細は10月3日に掲示板にて周知予定。英語で授業。対面授業或いはオンラインで実施する。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型). オンライン(同時双方向型). 対面. その他の実施形態
OBNP002	環境学フォーラムII	2	2.0	1 - 3	秋B	集中		環境学担当教員	環境問題の現場で集中授業を行う。種々のステークホルダーとのワークショップ等を通じて、幅広い視野・考察力・倫理観を涵養する。ワークショップの企画・運営を担うことにより、実践的なマネジメント力と問題解決能力等を身につける。	A guidance meeting will be held in early October. Attendance to it is mandatory without exception. 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型). オンライン(同時双方向型). 対面
OBNP011	環境学実践実習I	3	2.0	1 - 3	通年	応談		環境学担当教員	企業、研究機関、NPO等団体、国際機関等において、インターンシップ等の諸活動を行い、自らの専門分野と異なる、あるいは周辺分野における視野を広めるとともに、実務において必要な、判断力、コミュニケーション能力、実践力、マネージメント力等を涵養する。以上より、学際的な実務能力を臨地教育によって得るため,国内の現場において60時間以上の実習を行う。	
OBNP012	環境学実践実習II	3	2.0	1 - 3	通年	応談		環境学担当教員	企業、研究機関、NPO等団体、国際機関等において、インターンシップ等の諸活動を行い、自らの専門分野と異なる、あるいは周辺分野における視野を広めるとともに、実務において必要な、判断力、コミュニケーション能力、実践力、マネージメント力等を涵養する。本授業科目においては、より実践的な海外研修を中心とし、社会的要請に即した学術的知見とその社会実装の方策を考究する力を涵養する。以上により、学際的な実務能力を臨地教育によって得るため、海外の現場において60時間以上の実習を行う。	

専門科目_環境学関連科目(SUSTEP)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBNP201	環境学博士論文演習I	2	1.0	1 - 3	通年	応談		環境学学位プログラム担当教員	博士論文研究における課題設定、既存関連研究のレビュー、目的・手法設定、研究の根幹をなすデータ・試料・資料収集等を行い、博士論文研究を十分に遂行するに耐える、基礎知識、技術、解析力、分析力等を涵養すると共に研究に必須な研究倫理について十分理解させる。博士論文研究を遂行するのに十分な基礎的知識、周辺分野知識があるか、課題に関する既存の専門文献のレビューは十分か、手法・アプローチに関する検討や実現性は十分か、行程・スケジュールの見通しは実現可能なものか、すでに得られている成果は、研究目的を実現するために必要なものか等の観点から評価する。	
OBNP202	環境学博士論文演習II	2	1.0	1 - 3	通年	応談		環境学学位プログラム担当教員	博士論文研究において、必要十分なデータ、試料、資料等を収集し、それらの分析・解析等を通じ、従来にない独自性のある結果を導く能力を涵養するとともに、学術的に得られた結果が、社会的要請に対しどのように貢献し得るかを考究し提言し得る能力を身につけさせると共に研究に必須な研究倫理について十分理解させる。また、博士論文を執筆開始し得る材料と能力を涵養する。得られた成果は、当初の研究目的に合致したものか、研究成果が当該分野における国際的研究動向の中で適切に位置づけられているか、研究成果の独自性が明確化されているか、研究成果における社会的意義が明確化されているか、成果における社会実装の可能性が検討されているか等の視点から評価する。	